

運営委員長 山勢博彰（山口大学大学院医学系研究科）

最近、看護研究の実施をするためには、研究倫理審査を受けることが必須となってきました。倫理審査で承認を得られていなければ、学会発表も論文投稿もできない学会が増えているようです。こうした措置は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」などのガイドラインに基づいたものと考えられますが、何よりも患者さんや被験者などの研究協力者に対するアドボカシーの表れだと思います。私自身、大学の研究倫理委員会では委員長をしたり、学会の研究倫理審査委員として倫理審査を多数経験してきました。もちろん、申請者として倫理審査を依頼したこともたくさんあります。倫理審査では、倫理的側面のみを評価するのではなく、研究の科学的妥当性も問われることがあります。したがって、倫理審査は研究の実施に歯止めをかけるものではなく、研究の質を高めより良い研究ができるように支

援するものと考えられています。

しかし、研究支援・研究促進という理念が隠れてしまうと、本質的な問題点を指摘せずに、枝葉の問題ばかりに目が行く倫理審査になる可能性もあります。事実、重箱の隅をつつくような審査コメントが散見されますし、研究者の主体性を重んじること無く、審査委員の正当性を振りかざすような意見を目にすることもあります。こうした過剰とも言える倫理審査は、研究者のやる気を削ぎ、研究実施のハードルをますます上昇させ、現場のナースの研究動機をさらに低下させるのではないかと危惧します。

研究者は、倫理的にも科学的にも適切な研究計画を完成させるように努め、倫理審査をする側は、より良く研究が実施できるようにサポートするという立場を忘れずにいてほしいと思います。

第26回学術集会在広島で開催されました

学術集会実行委員長 鳥取大学 前田隆子

第26回学術集会を平成25年3月3日、鳥取大学医学部米子キャンパスで「クリニカルクエスト、そして研究！」をテーマに開催いたしました。地方会でしたが、全国各地からお越しいただき217名（会員146名、非会員33名、学生38名）の皆様にご参加いただきました。ありがとうございました。

特別講演では、筑波大学名誉教授の紙屋克子先生に「今ベッドサイドが面白い」をご講演いただきました。特別セミナーでは研究のスタートアップ支援を公開指導していただき大変好評でした。教育講演は研究を始めるお手伝いができればということで、「論文クリティークの意義と方法」「基本的な疫学研究方法論」「看護実践を研究に発展させるための行動分析学」のテーマで講演いただき、いずれも盛況でした。

不慣れで不手際も多々ありましたがお許しください。ご出席いただきました皆様方をはじめ多くの方々のご支援のもと無事開催できましたことを心より御礼申し上げます。

第26回学術集会に参加して

山口大学大学院医学系研究科 藤田直子

今回、鳥取大学での学術集会に参加させていただき、多くの皆様の演題をお聞きすることができました。様々な分野で活躍される方々が日々取り組んでおられる研究成果に触れることができました。

さらに、紙屋克子先生の「今ベッドサイドが面白い」という特別講演をお聞きして、看護によって患者さんに変化が起こるすばらしさ、やりがいを改めて感じ、日頃の看護を後押ししていただいたような気がします。また、患者さんのゴールに向けて看護は何を行わなければならないのかと患者さん、ご家族の立場にたって、改めて考える貴重な機会となりました。今回のテーマである「クリニカルクエスト、そして研究！」のもと、行動分析学からのシンプルに「行動」という観点から考えると、その問題の生じる原因やきっかけなどが分析可能になるという臨床での行動変容の大切さ、面白さを学ぶことができました。実りの多い充実した学術集会となりました。

●平成 24 年度事業報告●

1. 第 26 回学術集会開催

実行委員長：前田隆子 先生

(鳥取大学医学部保健学科教授)

日 時：平成 25 年 3 月 3 日 (日)

場 所：鳥取大学米子キャンパス

テーマ：「クリニカルクエスト、そして研究！」

演 題：口演 12 題、示説 37 題、(計 49 題)

参加者：217 名

2. 平成 24 年度総会開催

日 時：平成 25 年 3 月 3 日 (日) 12:30 ~ 12:50

場 所：鳥取大学米子キャンパス

3. 委員会報告

1) 運営委員会

(1) 第 1 回運営委員会会議

(平成 24 年 7 月 7 日 (土)、宜野湾市)

- ①第 25 回学術集会 (広島) の報告
- ②地方会活動計画、運営委員会活動、学術委員会活動、広報委員会活動について報告
- ③第 26 回学術集会準備状況の説明
- ④第 27 回学術集会開催地実行委員長の決定
中西純子先生 (愛媛県)
- ⑤第 28 回学術集会は、鳥根県で開催の決定
- ⑥第 29 回学術集会は、高知県で開催の決定
- ⑦第 30 回学術集会は、岡山県で開催の決定
- ⑧第 41 回全国学術集会が広島で開催されることを受け、

企画委員会の立ち上げに中国四国地方会運営委員の協力について依頼

(2) 第 2 回運営委員会会議 (平成 25 年 3 月 2 日、米子市)

- ①平成 24 年度事業報告
- ②平成 24 年度会計報告、監査報告
- ③平成 25 年度事業計画案
- ④平成 25 年度予算案

2) 学術委員会

(1) 第 1 回学術委員会会議

(平成 24 年 7 月 7 日 (土)、宜野湾市)

- ①第 25 回学術集会特別セミナーの振り返り
- ②第 26 回学術集会特別セミナー準備

(2) 第 2 回学術委員会会議

(平成 25 年 3 月 2 日 (土)、米子市)

- ①第 26 回学術集会特別セミナーの打合せ
- ②第 27 回学術集会学術委員会企画の検討
- ③学術委員会委員長交代

(新委員長 乗松貞子先生：愛媛大学)

(3) 第 26 回学術集会において特別セミナーの開催

日 時：平成 25 年 3 月 3 日 (日)

場 所：鳥取大学米子キャンパス

3) 広報委員会

- (1) 平成 24 年ニュース・レター 20 号を 9 月に発行
会員 935 名に送付した。

●平成 24 年度会計報告●

【収入の部】

(単位：円)

費 目	24 年度予算	24 年度実績	差異
前年度繰越金	422,994	422,994	0
地方会補助金	470,000	460,000	- 10,000
雑収入	80	123	43
合 計	893,074	883,117	- 9,957

【支出の部】

(単位：円)

費 目	24 年度予算	24 年度実績	差異
郵送費	80,000	88,490	8,490
事務費	20,000	19,428	- 572
人件費	30,000	30,000	0
各種委員会活動費	65,000	24,500	- 40,500
印刷費	75,000	59,808	- 15,192
記念事業等積立金	50,000	50,000	0
学術集会支援金	50,000	50,000	0
予備費	10,000	0	- 10,000
次年度への繰越金	513,074	560,891	47,817
合 計	893,074	883,117	- 9,957

●委員会より●

【学術委員会】

平成 24 年度の学術委員会は、第 26 回学術集会において特別セミナー「公開研究相談」を企画・運営しました。募集に応じて、鳥取生協病院から日頃の実践活動の有効性を明らかにしたいという研究相談が寄せられ、これに対し、学術委員の佐原玉恵先生(徳島文理大学)、山中道代先生(県立広島大学)が助言者として、相談者たちが考えていることを引き出しながら研究の方向性を導いていき、サポート的な雰囲気の中でセミナーは終了しました。学会終了後には、相談者から「研究に向かう強い力を得て感謝しています。学会に応募できることを目標に研究を進めたいと思います。」とのメールを頂きました。

(学術委員会委員長：中西純子)

【広報委員会】

平成 24 年度の中国・四国地方会広報委員会では、ニュース・レター 20 号を発行しました。平成 25 年度もニュース・レター 21 号を発行し、中国・四国地方会会員の皆様への情報提供の場として、皆様の活動をご報告していくための広報委員会として取り組んでいきたいと思っています。皆様からのご意見をお待ちしております。(広報委員長：當目雅代)

●平成 25 年度事業計画●

1. 第 27 回学術集会開催

実行委員長：中西純子 先生

(愛媛県立医療技術大学保健科学部看護学科)

日 時：平成 26 年 3 月 9 日 (日)

場 所：愛媛県 (愛媛県立医療技術大学)

2. 平成 25 年度総会開催

日 時：平成 26 年 3 月 9 日 (日)

場 所：第 27 回学術集会会場 (愛媛県立医療技術大学内)

3. 委員会活動

1) 運営委員会

(1) 第 1 回

日 時：平成 25 年 8 月 22 日 (木) 14:00～

場 所：第 39 回日本看護研究学会学術集会会場
秋田県民会館

(2) 第 2 回

日 時：平成 26 年 3 月 8 日 (土)

第 27 回学術集会前日

場 所：松山全日空ホテル

2) 学術委員会

(1) 第 1 回

日 時：平成 25 年 8 月 22 日 (土) 運営委員会終了後

場 所：第 39 回日本看護研究学会学術集会会場
秋田県民会館

(2) 第 2 回

日 時：平成 26 年 3 月 8 日 (土)

第 27 回学術集会前日 運営委員会終了後

場 所：松山全日空ホテル

3) 広報委員会

(1) 平成 25 年度ニュース・レター No.21 号を 9 月に発行、会員約 930 名に送付。

●平成 25 年度予算●

【収入の部】

(単位：円)

費 目	24 年度実績	25 年度予算案	差 異
前年度繰越金	422,994	560,891	137,897
地方会補助金	460,000	485,000	25,000
雑収入	123	80	- 43
合 計	883,117	1,045,971	162,854

【支出の部】

(単位：円)

費 目	24 年度実績	25 年度予算案	差 異
郵送費	88,490	90,000	1,510
事務費	19,428	20,000	572
人件費	30,000	30,000	0
各種委員会活動費	24,500	65,000	40,500
印刷費	59,808	75,000	15,192
記念事業等積立金	50,000	100,000	50,000
学術集会支援金	50,000	100,000	50,000
予備費	0	10,000	10,000
次年度への繰越金	560,891	555,971	- 4,920
合 計	883,117	1,045,971	162,854

●特別会計 (記念事業等積立金) ●

【収入の部】

(単位：円)

費 目	24 年度実績	25 年度予算案	差 異
前年度繰越金	240,419	290,474	50,055
当年度積立金	50,000	100,000	50,000
雑収入	55	50	- 5
合 計	290,474	390,524	100,050

【支出の部】

(単位：円)

費 目	24 年度実績	25 年度予算案	差 異
次年度繰越金	290,474	390,524	100,050
合 計	290,474	390,524	100,050

●事務局より●

事務局が山口大学医学部保健学科に移設され、早いもので 4 年目を迎えました。平素より、会員の皆様、並びに運営委員の先生方のご支援を頂いておりますこと心より感謝申し上げます。会員の皆様にとりまして、より一層有意義な地方会となりますよう、今後も精一杯努めてまいりますので、ご指導、ご助言をよろしくお願い申し上げます。お問い合わせは、

事務局専用アドレス jscr-cs@yamaguchi-u.ac.jp
にお願い致します。



一般社団法人日本看護研究学会中国・四国地方会第27回学術集会のご案内

第27回学術集会は、愛媛・砥部の里で開催します。中国・四国地方会学術集会の愛媛での開催は3回目、愛媛県立医療技術大学での開催は第9回（当時は短期大学）以来、15年ぶりとなります。今回の学術集会は、昨今、多くの看護師が疲弊していると言われるなか、もう一度、看護の原点に立ち返り、現代の医療においても対象者との相互作用のなかで相手の痛みや苦悩あるいは希望に寄り添う本来の看護を实践する看護マインドと方法論を、研究と実践の両面から探りたいと考え企画致しました。会場は松山市内から離れ、車以外では少し不便な所にあります。その分、四国の“接待”のこころを活かし、参加された皆さまに心地よく帰っていただけるよう準備に努めているところです。是非、多くの方がご参加くださり、日頃の教育・研究・実践の活発な交流の場となりますようお願いしております。

実行委員長 中西純子（愛媛県立医療技術大学）

■テーマ：「今だからこそ看護の原点を振り返る」

会 期：平成26年3月9日（日）9：30～16：10

会 場：愛媛県立医療技術大学（愛媛県伊予郡砥部町）

■プログラム

○特別講演：時代が変わっても見失わない看護の原点

川嶋みどり氏（日本赤十字看護大学名誉教授・健和会看護研究所所長）

○教育講演：その人の立場から世界をみる質的研究方法 ―ライフストーリー研究に焦点をあてて―

山田富秋氏（松山大学副学長・人文学部社会学科教授）

○リレートーク 看護の力：対象者のニーズを叶えるために in 愛媛

1. 外来で発揮する看護の力

山木一恵氏（松山赤十字病院 看護係長・皮膚排泄ケア認定看護師）

2. 緩和ケアにチームの力を結集させる看護の力

吉田美由紀氏（医療法人聖愛会在宅診療部ベテル在宅療養支援センター所長・地域看護専門看護師）

3. 資源を開発しシステムを改革していく看護の力

安藤真知子氏（一般社団法人在宅ケアセンターひなたぼっこ代表理事・統括所長）

○特別セミナー 研究支援：文献の読み方（地方会学術委員会企画）

○一般演題（口演・示説）

演題募集期間 平成25年10月1日（火）～10月25日（金）

申し込み方法 以下のHP上からお申し込みください

- ① 日本看護研究学会中国・四国地方会 HP <http://www.jsnr.jp/district/chugoku-shikoku/>
- ② 愛媛県立医療技術大学保健科学看護学科 HP <http://www.epu.ac.jp/>

◎懇親会 日時：平成26年3月8日（土）18：00 会場：松山全日空ホテル

お問い合わせ先

事務局／愛媛県立医療技術大学保健科学部看護学科 成人・老年看護学講座内（担当：西田・松井）

〒791-2101 愛媛県伊予郡砥部町高尾田543番地

Tel 089-958-2111（代表） E-mail kenkyu27@epu.ac.jp

発 行 〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1 山口大学医学部保健学科内
一般社団法人 日本看護研究学会 中国・四国地方会事務局
発行責任者 運営委員長 山勢 博彰 広報委員長 當日 雅代

